

第43回オープンセミナー

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、研究開発を通して創出した新技術を地域企業の皆様方に活用して頂くことや、原子力分野へ幅広く参入して頂くために、機構の技術などを紹介する取組みを行っています。

日時・場所

敦賀会場 ▶ 平成30年2月28日(水)
14:00～16:00

アクアトム3階 プラント技術産学共同開発センター
(〒914-0063 敦賀市神楽町2丁目2-4 TEL:0770-47-6821)

福井会場 ▶ 平成30年3月1日(木)
14:00～16:00

福井商工会議所ビル2階 会議室D
(〒918-8580 福井市西木田2丁目8-1 TEL:0776-36-8111)

セミナー内容

■ 世界の経験から見たわが国の廃止措置の展望

公益財団法人 原子力バックエンド推進センター (RANDEC)

専務理事 澁谷 進

わが国では原子炉等規制法の改正や安全に係る新基準の制定により、運転40年を超える発電炉の廃止措置への移行が相次いで決定されています。このような状況のなか、廃止措置に係る施策や規制制度や廃止措置の方式と事業形態(ビジネスモデル)、解体廃棄物の処理処分、地域社会との関わりなど廃止措置を取り巻く諸課題について、海外における廃止措置の実践経験を通して、今後のわが国の廃止措置の在り方について展望します。

■ 「ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点」の整備について ～自社の技術を廃炉ビジネスに！～

原子力機構 敦賀事業本部 敦賀連携推進センター 産学連携推進室、レーザー共同研究所、原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)

原子力機構は、福井県、福井大学、若狭湾エネルギー研究センターと共同提案し文部科学省の支援施策である平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」で採択され、「ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点」(スマデコ)を整備中です。

スマデコは、原子力発電所の廃止措置に関する技術について地元企業の成長を支援し、産学官が一つ屋根の下で地域経済の発展と廃止措置の課題解決に貢献するための拠点で、廃止措置解体技術検証フィールド、レーザー加工高度化フィールド、廃止措置モックアップ試験フィールドの3つの施設から構成されます。今回は、各フィールドの概要をご紹介します。

お問合せ

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 敦賀連携推進センター 産学連携推進室

TEL 0770-21-5033

FAX 0770-21-5090

URL <http://jaeasoudan.jp/>